

福井市新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書 正誤表

番号	頁	項目等	誤	正																								
1	509	7.12.2 施設の稼働に伴う廃棄物等に係る予測・評価 (1) 予測	施設の稼働に伴い発生する廃棄物は、焼却灰が48.6 t/年、飛灰が24.1 t/年、合計で72.7 t/年になると予測する。	施設の稼働に伴い発生する廃棄物は、焼却灰が <u>4,120</u> t/年、飛灰が <u>1,993</u> t/年、合計で <u>6,113</u> t/年になると予測する。																								
2	同上	同上 表7.12-6	<p style="text-align: right;">単位：t/年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>発生量</th> <th>処理等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼却灰</td> <td>48.6</td> <td>埋立処分</td> </tr> <tr> <td>飛灰</td> <td>24.1</td> <td>薬剤処理ののち、埋立処分</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>72.7</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	発生量	処理等の方法	焼却灰	48.6	埋立処分	飛灰	24.1	薬剤処理ののち、埋立処分	合 計	72.7	—	<p style="text-align: right;">単位：t/年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>発生量</th> <th>処理等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼却灰</td> <td><u>4,120</u></td> <td>埋立処分</td> </tr> <tr> <td>飛灰</td> <td><u>1,993</u></td> <td>薬剤処理ののち、埋立処分</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td><u>6,113</u></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	発生量	処理等の方法	焼却灰	<u>4,120</u>	埋立処分	飛灰	<u>1,993</u>	薬剤処理ののち、埋立処分	合 計	<u>6,113</u>	—
種 類	発生量	処理等の方法																										
焼却灰	48.6	埋立処分																										
飛灰	24.1	薬剤処理ののち、埋立処分																										
合 計	72.7	—																										
種 類	発生量	処理等の方法																										
焼却灰	<u>4,120</u>	埋立処分																										
飛灰	<u>1,993</u>	薬剤処理ののち、埋立処分																										
合 計	<u>6,113</u>	—																										
3	510	同上 (2) 評価	その結果、発生する廃棄物は、焼却灰が48.6 t/年、飛灰が24.1 t/年、合計で72.7 t/年になると予測する。	その結果、発生する廃棄物は、焼却灰が <u>4,120</u> t/年、飛灰が <u>1,993</u> t/年、合計で <u>6,113</u> t/年になると予測する。																								
4	613	10 総合評価 表10.1-40	<p>施設の稼働に伴い発生する廃棄物は、焼却灰が48.6 t/年、飛灰が24.1 t/年、合計で72.7 t/年になると予測する。</p> <p style="text-align: right;">単位：t/年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>発生量</th> <th>処理等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼却灰</td> <td>48.6</td> <td>埋立処分</td> </tr> <tr> <td>飛灰</td> <td>24.1</td> <td>薬剤処理ののち、埋立処分</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>72.7</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	発生量	処理等の方法	焼却灰	48.6	埋立処分	飛灰	24.1	薬剤処理ののち、埋立処分	合 計	72.7	—	<p>施設の稼働に伴い発生する廃棄物は、焼却灰が<u>4,120</u> t/年、飛灰が<u>1,993</u> t/年、合計で<u>6,113</u> t/年になると予測する。</p> <p style="text-align: right;">単位：t/年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>発生量</th> <th>処理等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼却灰</td> <td><u>4,120</u></td> <td>埋立処分</td> </tr> <tr> <td>飛灰</td> <td><u>1,993</u></td> <td>薬剤処理ののち、埋立処分</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td><u>6,113</u></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	発生量	処理等の方法	焼却灰	<u>4,120</u>	埋立処分	飛灰	<u>1,993</u>	薬剤処理ののち、埋立処分	合 計	<u>6,113</u>	—
種 類	発生量	処理等の方法																										
焼却灰	48.6	埋立処分																										
飛灰	24.1	薬剤処理ののち、埋立処分																										
合 計	72.7	—																										
種 類	発生量	処理等の方法																										
焼却灰	<u>4,120</u>	埋立処分																										
飛灰	<u>1,993</u>	薬剤処理ののち、埋立処分																										
合 計	<u>6,113</u>	—																										
5	614	同上 表10.1-41	その結果、発生する廃棄物は、焼却灰が48.6 t/年、飛灰が24.1 t/年、合計で72.7 t/年になると予測する。	その結果、発生する廃棄物は、焼却灰が <u>4,120</u> t/年、飛灰が <u>1,993</u> t/年、合計で <u>6,113</u> t/年になると予測する。																								

福井市新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書要約書 正誤表

番号	頁	項目等	誤	正																																																																				
1	113	8 調査、予測及び評価結果 表8.1-40	<p>施設の稼働に伴い発生する廃棄物は、焼却灰が48.6 t/年、飛灰が24.1 t/年、合計で72.7 t/年になると予測する。</p> <p style="text-align: right;">単位：t/年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>発生量</th> <th>処理等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼却灰</td> <td>48.6</td> <td>埋立処分</td> </tr> <tr> <td>飛灰</td> <td>24.1</td> <td>薬剤処理ののち、埋立処分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72.7</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種類	発生量	処理等の方法	焼却灰	48.6	埋立処分	飛灰	24.1	薬剤処理ののち、埋立処分	合計	72.7	—	<p>施設の稼働に伴い発生する廃棄物は、焼却灰が4,120 t/年、飛灰が1,993 t/年、合計で6,113 t/年になると予測する。</p> <p style="text-align: right;">単位：t/年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>発生量</th> <th>処理等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼却灰</td> <td>4,120</td> <td>埋立処分</td> </tr> <tr> <td>飛灰</td> <td>1,993</td> <td>薬剤処理ののち、埋立処分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,113</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種類	発生量	処理等の方法	焼却灰	4,120	埋立処分	飛灰	1,993	薬剤処理ののち、埋立処分	合計	6,113	—																																												
種類	発生量	処理等の方法																																																																						
焼却灰	48.6	埋立処分																																																																						
飛灰	24.1	薬剤処理ののち、埋立処分																																																																						
合計	72.7	—																																																																						
種類	発生量	処理等の方法																																																																						
焼却灰	4,120	埋立処分																																																																						
飛灰	1,993	薬剤処理ののち、埋立処分																																																																						
合計	6,113	—																																																																						
2	114	同上 表8.1-41	<p>その結果、発生する廃棄物は、焼却灰が48.6 t/年、飛灰が24.1 t/年、合計で72.7 t/年になると予測する。</p>	<p>その結果、発生する廃棄物は、焼却灰が4,120 t/年、飛灰が1,993 t/年、合計で6,113 t/年になると予測する。</p>																																																																				
3	164	10.2 事後調査の項目選定 表10.2-1(2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">影響要因の区分</th> <th colspan="2">工事中</th> <th colspan="3">供用時</th> </tr> <tr> <th>建設機械の稼働</th> <th>工事用車両の運行</th> <th>掘削工事及び切土・盛土・造成工事</th> <th>敷地の存在</th> <th>施設の稼働</th> <th>施設利用車両の走行</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">環境要素の区分</td> <td>生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</td> <td>動物</td> <td>重要な種及び注目すべき生息地</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植物</td> <td>重要な種及び重要な群落</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	影響要因の区分		工事中		供用時			建設機械の稼働	工事用車両の運行	掘削工事及び切土・盛土・造成工事	敷地の存在	施設の稼働	施設利用車両の走行	環境要素の区分	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地								植物	重要な種及び重要な群落									<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">影響要因の区分</th> <th colspan="2">工事中</th> <th colspan="3">供用時</th> </tr> <tr> <th>建設機械の稼働</th> <th>工事用車両の運行</th> <th>掘削工事及び切土・盛土・造成工事</th> <th>敷地の存在</th> <th>施設の稼働</th> <th>施設利用車両の走行</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">環境要素の区分</td> <td>生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</td> <td>動物</td> <td>重要な種及び注目すべき生息地</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植物</td> <td>重要な種及び重要な群落</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	影響要因の区分		工事中		供用時			建設機械の稼働	工事用車両の運行	掘削工事及び切土・盛土・造成工事	敷地の存在	施設の稼働	施設利用車両の走行	環境要素の区分	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地	●							植物	重要な種及び重要な群落			●					
影響要因の区分		工事中				供用時																																																																		
		建設機械の稼働	工事用車両の運行	掘削工事及び切土・盛土・造成工事	敷地の存在	施設の稼働	施設利用車両の走行																																																																	
環境要素の区分	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地																																																																					
	植物	重要な種及び重要な群落																																																																						
影響要因の区分		工事中		供用時																																																																				
		建設機械の稼働	工事用車両の運行	掘削工事及び切土・盛土・造成工事	敷地の存在	施設の稼働	施設利用車両の走行																																																																	
環境要素の区分	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地	●																																																																				
	植物	重要な種及び重要な群落			●																																																																			